

2020年9月20日

## 第52回根研究集会でのポスター発表方法（案）

現時点では、以下のやり方を最有力候補に考えています。

ポスターごとに会議室を設けるには、ポスターと同じ数だけパソコンが必要。そこで、発表者自身に会議室を開いてもらう。

### 【概要】

1発表につき1つのZoomアカウントを運営委員会が用意し、発表者自身に会議室を1つ開いてもらう。

参加者は、事前にPDFで配布のプログラムから、発表を見たい会議室にZoomで接続する（PDF内のリンク先をクリック、またはPDFに書かれたID・パスワードをZoomに入力）

発表者は、自分が管理する会議室で、ポスターの代わりに横長のパワーポイント画面をZoomの画面共有機能で参加者に見せながら、説明・質疑を行う。

各発表の時間は30分間（+希望者には、懇親会前にもう30分間を設定）

この方法では、ポスター発表時間内なら、参加者は自由に移動し、普通のZoom会議と同じように、顔を見ながら、いつでも自由に発言できる。

### 【事前準備】

#### [運営委員会]

発表の数だけメールアドレスを作成し、Zoomのアカウントを作る。

Zoomの各アカウントには1つずつの会議室【マイ個人ミーティング(PMI)】がついているので、そのリンク先URL、ミーティングID・ミーティングパスワードを運営委員会で記録しておく。

プログラムが確定したら、リンク先URL、ミーティングID・ミーティングパスワードが入ったプログラムをPDFで作成し、参加者に配布。

#### [発表者]

運営委員会から、自分の発表用のメールアドレス、Zoomアカウントが知らされ、マニュアルが送られてくるので、実際にZoomでアクセスして、会議室【マイ個人ミーティング(PMI)】の起動方法や画面共有のしかたを確認しておく。意外に簡単。

#### [運営委員会+発表者]

発表者1人ずつあらかじめ日時を決めて、接続テストを実施。

接続テストの時間までに、発表者が会議室【マイ個人ミーティング(PMI)】を起動しておき、運営委員が参加者役でアクセスできるか、共有画面(ポスター)を見たり、会話したりできるか確認する。

### 【当日】

発表者は各自に割り当てられた時間までに、会議室【マイ個人ミーティング(PMI)】を起動し、ポスター画面を共有状態にして待機。

各参加者は、プログラムのPDFから、自分が見たいポスターの会議室にアクセス。  
優秀発表賞の審査員も、一般参加者と同じように見て回る。

運営委員は、全ポスターの会議室を巡回して、問題ないかチェック。

### 【検討事項】

Zoomの無料アカウントは、会議室の1回の起動で40分の時間制限がある。30分間のポスター発表には十分であるが、会計に余裕がある場合には、ポスター発表の数だけ有料アカウントを用意する。1か月間の契約で1アカウント約2,000円。

学生の参加が多いなど、財政に余裕がない場合には、無料アカウントを使用する。(口頭発表会場用には、阿部が東海大学で有料契約しているZoomアカウントが使える。根研究集会としての費用負担は不要)

Zoomの画面共有で見せることができるポスターは、口頭発表用のパワーポの画面と同じで、紙のポスターよりも情報量が小さい。

かといって何枚ものスライドに分割すると、途中から入室した参加者には、研究の全体像が全く分からなくなる。ポスターのスライド枚数は1~3枚に限定したほうがよさそう。

データのコピーを配布してもよいという人については、事前にポスター全体をPDF1ページで提出してもらい、プログラム・要旨集と一緒に参加者に配布する？

以上